

# 社会と自分とのつながりを感じ、自分の考えをすすんで表現する子ども

実践校第2年次 大町市立大町東小学校 宮澤 勲 徳嵩 敏幸

## 1 はじめに

本校は、全校児童318名 各学年2学級ずつの規模である。初年度は、5年生2学級(1組 21名 2組 21名)で、本年度も同じく5年生2学級(1組 27名 2組 28名)でNIEの実践を行った。初年度の成果として以下の点があげられる。

- ・新聞記事を読む習慣が身につく、面白さを実感することが出来るようになった。
- ・新聞を読んだり内容について話し合ったりすることで、家族と触れ合う機会にもなり、集めてくる記事を見て担任が個々を理解する手段ともなりえた。
- ・社会で起きていることに敏感になり、自分なりの考えを持って表明できる力が身につくようになる。
- ・漢字や言葉になれ、読むことに対する抵抗は減ってきていると思われる。
- ・新聞特有の文章表現も数多く読むことによって自然に身についていた。
- ・新聞を実際に書くことを通して、構成を意識した文章を書くことの学習になった。課題としては以下の点があげられる。
- ・新聞記事をもとにより多くの意見を述べ合う機会を設けることや、立場の違った人と話し合うことによって、社会事象にかかわる自分の考えをさらに練り上げられるだろう。
- ・新聞づくりをする上で、たくさんの取材内容の中から、何を中心に記事を書くか取捨選択していく力を身につけることが必要である。
- ・教科の学習の中に、新聞を効果的に位置づけることは、子どもたちが自分自身を社会の中に位置づけて考える上でとても有効だと思うが、適切な記事を選ぶ必要性が指導者に問われている。
- ・成果を学校全体に広めていくこと。

昨年度から国語科研究グループでは「書く力の育成」を目指して全学年で取り組み、今年度は自分の考えがしっかり書ける子どもの育成を重点に実践を積み重ねている。そこでNIEの活動もそれにタイアップしながら、新聞記事の内容にもとづいて自分の考えを述べる力や、書く力を養っていけるように、新聞記事を活用してのスピーチや意見交換会、意見文を書く活動、そして新聞づくりを推進していこうと考えた。その際、さまざまな情報を自分自身で取捨選択し、適切に判断しながら活用させていきたい。

## 2 育てたい力(子どもにつけたい力)

### (1) 現実の社会と自分とのつながりを感じることができる力

今、自分の身の回りでどんなことがおこり、それに対して自分はどんな気持ちになるのか、どう考えるか、どうしたらよいのかなどを意識することによって、現実の社会に学び、生きていく子供を育てたい。

### (2) より多くの人との意見交換を通して、共感したり、批判し合ったりすることを楽しむ力

記事にかかわって、家族や教師、友達と意見交換することによって、自分の思いを確かめたり、考えを新たにしたり、より詳しく調べてみたりすることを習慣化したい。

### (3) 自分の考えをすすんで表現する力

新聞記事から読みとったことをもとに、自らの考えをすすんで表現しようとし、より効果的な文章を書く力を育てたい。

### (4) 生き方に触れ、自分を見つめなおす力

記事を読むこと、書くことを通して、より多くの人々の生き方や考え方に触れ、自分の自身を省みることで、そしてより高まっていこうとする態度を身につけたい。

### 3 NIEカリキュラム

段階 分類		ふれて親しむ (小学校低学年～ 小学校中学年)	親しみ使う (小学校中学年～ 小学校高学年)	使って学ぶ (小学校高学年～ 中学校1学年)
新聞で学ぶ	読んで使う	<p>新聞の写真や文字を使った遊びを通して、親しみを持って新聞を学習に取り入れることができる。</p> <p>新聞記事を活用してのスピーチやクイズづくり (5年 総合)</p>	<p>新聞に親しみながら、書く力を高めたり、考えを広げたりすることができる。</p>	<p>新聞記事を読んで、自分の文章を磨いたり、友と意見交換をしたりしながら考えを深めることができる。</p> <p>新聞記事を活用しての意見交換会(5年総合) ハッピーニュースに応募(5年道徳 総合)</p>
	使って考える		<p>新聞の成り立ちについて学びながら、新聞が持っている役割について、理解し、新聞にふれようとする気持ちを持つ。</p> <p>新聞記者になろう (4年 国語科)</p>	<p>新聞やテレビなど、それぞれのメディアには特徴があることを知り、その違いに気をつけながら、使うことができる。</p> <p>私たちの生活と情報 (5年 社会科)</p>
新聞に学ぶ	つくり発信する	<p>新聞で遊んだ記事や写真を整理して貼りだし、友だちと見せ合って意見を述べ合うことができる。</p>	<p>切り抜いた記事を整理して貼りだしたり、自分の考えや体験を文章にして新聞にしたりすることができる。</p> <p>テーマ新聞作り (5年 総合)</p>	<p>自分の課題に沿った記事を集め、自分の考えや主張が伝わる新聞を作り、意見交換をしながら発信できる。</p> <p>自作の新聞づくり (5年 総合)</p>

### 4 研究計画(概要)

つがい	目 標	主な単元(活動)	指導・支援	評 価
現実の社会と自分とのつながりを感じる力が	新聞を見ることがや興味関心を持つことができる。	新聞記事を活用してのスピーチやクイズづくり 1 家庭や学校の新聞の中から興味を持った写真とその見出しを切り抜いて保存する 2 保存した写真について、スピーチ(記事の内容と簡単な感想)をし、多くの人がどう思うか話し合うことによって、関心を深める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者には研究の意図を伝え、負担にならない範囲での協力を依頼する。</li> <li>地元誌も活用して、身近な記事によって興味が持ちやすいように心がける。</li> </ul>	写真を切り抜いたり、いろいろな人と話すことで新聞に興味を持つことができ、新聞に目を通すことや読むことが習慣化してきたか。

		3 保存した写真や記事について、クイズ形式でその記事について関心を高める。		
より多くの人の意見交換を通して、共感したり、批判し合ったりすることを楽しむ力	観点を持って新聞を読むことによって、社会と自分とのつながりを意識することができる。	<p>テーマ新聞作り</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 自分のテーマにそって記事を集め、スクラップブックを作る。</li> <li>2 テーマ新聞を作りながら自分の考えをまとめる。</li> </ol> <p>新聞記事を活用しての意見交換会</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 一つの記事について、その真実を自分なりの調査で確かめ、自分の考えを意見交換しながら明らかにしていく。</li> <li>2 まとめ新聞を書く。</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国語科や社会科に関連のある記事(環境問題、車)を集めさせる。</li> <li>・調査や資料をもとに意見交換を行い、自分の考えを書けるように促す。</li> <li>・意見交換に適した記事を選ばせ、記事の内容について調査させたり、詳しい資料を収集させたりする。</li> <li>・自由に意見交換をさせ、自分の考えを持たせる。</li> <li>・自分が心に残ったことを見だしにして、新聞を書かせる。</li> </ul>	観点を持って、新聞記事を見つける力が伸びたか。深く読み取ろうとする姿勢が育っているか。自分たちとのかかわりで社会事象を考えていこうとする態度が育っているか。
自分の考えをすすんで表現する力	新聞記事について、自分の考えを持ち、相手にわかりやすい文を書くことができる。	<p>ハッピーニュースに応募</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 自分が選んだ新聞記事について、要約をまとめ、自分の考えを持ってハッピーニュースを書く。</li> <li>2 自分の書いた文を友達に読んでもらって、どこがどのようにわかりにくいのか評価し合う。</li> <li>3 相手にわかってもらえるためにはどんな方法や言葉を選べばよいか話し合い、文章を校正する。</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハッピーニュースの構成を説明し、(あらすじ・感想・記事に関わる自分の考え)ハッピーニュースを書かせる</li> <li>・友の文章を読み合い、伝わりにくい点を助言したり、訂正しあったりさせる。</li> <li>・実例を挙げるなど、よりリアルな文章になるように指導する。</li> </ul>	友と書いた文を批正し合うことができたか。多くの人の賛同を得られるように工夫して文を書くことが出来たか。
生き方に触れ、自分を見つめなおす力	一生懸命働く人について伝えたいことをはっきりさせた記事を書いて発信することができる。	<p>自作の新聞づくり</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 身近なところに紹介したい人を見つけ、インタビューに行く。</li> <li>2 取材したことを基に、事実と自分の考えとがはっきりした文章を書く。</li> <li>3 友達同士で評価しあい、校正し、文章をみがいていく。</li> <li>4 写真を交えた新聞記事を書き、多くの人に読んでもらって感想を聞く。</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インタビューの項目が、自分の取材の意図とあっているか確かめるようにさせる。</li> <li>・読者にどんなことを伝えたいのか明確にして、インタビューや作文ができるように指導する。</li> <li>・子供の意図を読み取って、校正のアドバイスをする。</li> </ul>	紹介したい人について、適切な取材が出来相手に感動を与えるような文章を工夫して書くことが出来たか。伝えたいことをはっきりさせて校正していく態度や技能が身についたか。

## 5 予想される困難点とその対策

### (1) 自分の力だけで新聞を読むことができないだろう

保護者の理解を得て、児童の興味を持つものを読んでもらったり、話し合ってもらおう。担任も同様のことを朝ドリルの時間に行う。活字離れ、新聞離れは大人にも進んでいることなので、子供とともに社会に関心を持って学ぶ機会とする。(ファミリーフォーカス)

### (2) 時間の確保、学習の継続性が難しいだろう

朝の国語ドリルの時間を新聞を読む時間として当面確保する。担任は、希望する児童に紙面を読んでやったり、どの子がどんな記事に関心を寄せているか観察する。

夏休み中の一研究の課題として、全員に自分が興味を持った話題について新聞を書く。テーマを一つ決め、それに関わる記事を集めることを通して、新聞を読み慣れる。

国語科研究の「書く」ことをテーマにした題材のひとつとしてあげ、最終的には、自分の考えを持って、相手にわかりやすく自分の新聞記事を書く活動に発展させていく。

その他の、国語、社会、道徳などの教科との関連性を考え、教科書教材をさらに発展させていくように心がける。

保護者の理解や協力が得られるよう、子供たちの様子を出来るだけ報告し、学習によって身についた力をわかりやすく伝えるようにこころがける。

## 6 研究経過

・・・成果

・・・課題

月	目 標	主 な 活 動	子 ど も の 様 子	評 価 ・ 考 察
6 7 月	新聞を見ることや読むことに興味関心を持つことが出来る。	<p>新聞記事を活用してのスピーチやクイズづくり</p> <p>1 家庭や学校の新聞の中から興味を持った写真とその見出しを切り抜いて保存する。</p> <p>2 保存した写真について、スピーチ(記事の内容と簡単な感想)をし、多くの人々がどう思うか話し合うことによって、関心を深める。</p> <p>3 保存した写真や記事について、クイズ形式でその記事について関心を高める。</p>	<p>写真を集めることは楽しんで出来た。見出しくらいは自然に読むようになった。</p> <p>記事を正確に読めないで、内容の理解は不十分だった。</p> <p>保護者も一緒に記事を集めてくれたりして興味が増してきたように思った。</p> <p>ドリルの時間に自分の集めた記事について友達と話すことを楽しめるようになってきた。</p> <p>子どもがスピーチに選んだ記事を担任が十分に読み込んでいないので、話した内容がどの程度深まっているのか把握できない。</p> <p>出題者は三択クイズにするなどクイズをつくるのを楽しんでいた。数量に関わる問題が多かった。記事の核心にふれたクイズは少なかった。</p>	<p>新聞への興味は、個人差があるものの確実に高まった。</p> <p>保護者の協力が得られ、子どもたちは家の人と新聞記事について話をする時間もあるようだ。</p> <p>友達と話すことによって話題が共有できた。また、一人一人の児童の興味のある分野や傾向がつかめた。</p> <p>記事の中のどういう点について友達と話したいかはっきりさせると理解が深まったと思う。</p> <p>新聞を読む上で、数量や色などイメージしやすい事柄は子ども達も理解できる。</p>
8 月	観点を持って新聞を読むことによる	<p>テーマ新聞作り</p> <p>1 自分のテーマにそって記事を集め、スクラッ</p>	<p>4社の新聞が学校にストックできていたので、同じ話題の記事でも新聞各社が扱う内容が異なり、読み比べができた。</p>	<p>事実と自分の考えを区別して書く指導を1学期から国語で指導してきたので意見文もわりとスム</p>

<p>9月</p> <p>10月</p> <p>11月</p>	<p>って、社会と自分とのつながりを意識することができる。</p>	<p>プブックを作る。</p> <p>2 同じテーマを持った子同士でテーマ新聞を作りながら自分の考えをまとめる。</p> <p>新聞記事を活用しての意見交換会</p> <p>1 一つの記事について、その真実を自分なりの調査で確かめ、自分の考えを意見交換しながら明らかにしていく。</p> <p>2 まとめの新聞を書く。</p>	<p>同じテーマの記事がたくさん集まったので、子ども達は多様な事実から自分の考えをいていた。</p> <p>書いてあることを忠実に読むことがむずかしい。辞書を引いて調べても専門用語は理解しにくいので補って説明してあげた。</p> <p>自分が調べたいことを熱心に調べ、図などにまとめることができた。</p> <p>調べた事実からバイオエタノールやレジ袋の今後について一人一人意見が持てた。</p> <p>一人一人が印象に残ったことがあり、それを新聞の見出しにして工夫して書いていた。</p>	<p>ーズに書くことができた。</p> <p>授業では保護者の協力もあり、教師も含め一人一人が自分事として記事について意見を持つことができた。新聞にいつそう興味が持てるようになってきた。</p> <p>討論までできるように導きたかった。</p>
<p>12月</p>	<p>新聞記事について、自分の考えを持ち、相手にわかりやすい文を書くことができる。</p>	<p>ハッピーニュースに応募</p> <p>1 自分が選んだ新聞記事について、要約をまとめ、自分の考えを持ってハッピーニュースを書く。</p> <p>2 自分の書いた文を友達に読んでもらって、どこがどのようにわかりにくいのか評価し合う。</p> <p>3 相手にわかってもらえるためにはどんな方法や言葉を選べばよいか話し合い、文章を校正する。</p>	<p>国語の「千年の釘に挑む」の発展としてがんばっている人や、勇気の出る話などを集めてみるように働きかけたところ、意欲的に集めることが出来た。</p> <p>自分の生活に即した記事を選んで、自分の考え方や行動を振り返りながら応募作文が書けた。</p> <p>事実のどこに感動したのかははっきりしない子どももいる。新聞内容を確実に読みとるにはまだ不十分な子どもも多い。</p> <p>一定の形式を教えたのでほとんどの子どもが自力で書くことが出来たが、自分の気持ちや詳しい様子を効果的に表現することが難しい子どもが多い。</p> <p>友の指摘も文末表現が多く、内容に関わって指摘してあげられる子が少なかった。</p>	<p>集めた記事がテーマからはずれているものや、内容が難しすぎるものが目立つ。個別指導が必要。</p> <p>教師とともに集めなおす作業を経て、全員が形式に沿ったまとめが出来、自分の考えを持つことが出来た。</p> <p>必然的に自分の経験とかわる記事を選ぶので、作文も自分に引き寄せて書くことが出来た。</p> <p>事実に対する自分の考えを対応させて書くような指導が日頃必要に感じた。</p>
<p>1月</p>	<p>身近な話題について、特集新聞を作ろう。</p>	<p>新聞作り</p> <p>1 「ニュース番組づくりの現場から」を想起し、特集記事の書き方について大事なことを考える。</p>	<p>多くの人が関心を持ちそうな話題について、デスクが疑問に思ったことから取材することが大事であることがわかった。</p> <p>取材については、必ず資料や他の人の話で確かめる必要があることがわかった。</p> <p>編集には、一番伝えたいことを絞って報道することが大事であることがわかった</p>	<p>ニュースと新聞を関連させて指導できる、適切な教材文が、教科書にあって指導できた。</p> <p>新聞の特集記事の書き方も本来は学習すべきであった。</p>



		<p>7 友達と読みあったり，身近な人に読んでもらったりして感想を聞く。</p>	<p>資料の準備，( )書きとして加えることなど)</p> <p>友達の新聞を興味深く読みあうことが出来た。評価や感想の観点も，次第に豊かになり，割付の工夫，写真のとり方，文章表現の仕方，インタビュー内容など幅広くなってきた。</p> <p>新聞を読んだ級友やテーマに選んだ人に読んでもらったの感想，</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・よく書けている</li> <li>・あたたかな新聞に仕上がっている</li> <li>・見出しがはっきりしていて良い。</li> <li>・字が工夫して書けていえる。</li> <li>・写真が良い。</li> <li>・もっとインタビューすると詳しくなる。</li> </ul>	<p>インタビューを要約して書くことができない。</p> <p>書き上げた喜びが多くの子に見られ，達成感を味わうことができた。</p> <p>読者に伝えたいことは何かはっきりさせる必要がある。取材を通してみえてくることもある。</p>
--	--	------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 7 実践事例 単元名 『新聞記事の向こうに』

### 一 単元の立ち上げについて

#### 1 子どもの意識について

##### 国語学習から

自分にとってのごみ問題とは何か，今後どうしていきたいかをレポートにまとめた。子どもの中には，買い物はマイバックを持参し，レジ袋をもらわないようにする。マイハシを使用し，割り箸をもらわないなどゴミを減らすにはどうしたらよいか考えた子もいる。

##### 社会科学学習から

自動車の学習で，今後増えるであろう環境にやさしい車の中で，地球温暖化を防ぐためにCO<sub>2</sub>排出を抑えてくれるバイオエタノールという代替燃料が普及していることを知る。

##### 子どもの日記から

##### 「地球温暖化」

今，1秒間に野球場の3分の1以上の天然林が消失し，1秒間に710トンの酸素が減っている。今，1秒間に4トンの文章用紙が世界で使用され，1秒間に日本では500kgの紙ごみが捨てられている。こんな大変なことが，1秒の世界で起きているなんて知りませんでした。私たちがふつうに過ごしている1秒，まばたきを1回するだけの一瞬の時間。世界の環境というのはいは1秒でかんたんにかわってしまうことなんですね。国語でごみ問題を調べて，「自分でできること環境にやさしいことがあったら少しでもやりたい。」という結論を出しましたが，1秒間でこんなことがおこっているなんて本当に大変なことだと思いました。人間はのんびりしていて大丈夫？と思いました。小学6年生のカナダ人，セヴァン・カリス＝スズキさんの詩はとてもすごいと思います。

##### 「あなたが世界を変える日」 略

こんなことを書いたなんて，同じ小学生としてほこりに思います。私も見習わなきゃいけないですね。

## 2 新聞記事との関連

子どもたちは国語や社会の学習で少なくとも環境問題に意識は向いていると思われる。だが、日常生活となかなか結びつけて考えられないのが日記からもうかがえる。そんな最中、ニュースや新聞で、原油価格高騰に伴うガソリンや軽油価格の値上げ、食料品のあいつぐ値上げが毎日のように取り上げられた。また、自動車の学習に入ると教師の呼びかけではあったが自動車に関わる記事を家で見つけては持ってくる子が増えてきた。と同時ごろ、ゴア元アメリカ副大統領が地球温暖化防止に関わってノーベル平和賞を受賞したニュースが入ってくると、地球環境に関わる記事も子ども達は探し始めた。

そこで新聞記事をもとに環境問題を掘り下げて考えてみようと思ったのである。子ども達が見つけた記事の中で、国語や社会の学習に関わって、以下の2つの記事に教師は目がとまった。

- ・レジ袋の有料化 賛成46%反対10%
- ・バイオエタノールの賛否

レジ袋の有料化の記事については、マイバック普及への動き、ゴミを減らす、資源(石油)節約、消費者の意識、お店の考えなど新聞記事の内容以外にも様々な内容を思いめぐらせることが期待できる。バイオエタノールの記事については、地球温暖化に向けてガソリンの代替燃料として注目を浴びてはいるものの、原料となるトウモロコシの生産に関わって、他の食料への影響や食料品の値上げとの関連、生産工程での諸問題などレジ袋の有料化同様様々な思いをめぐらせることが期待できる。さらに、6月のNIEの実践報告会の折りに、渋澤長野県NIE推進協議会会長が、「新聞を批判的に読む力をつけさせたい。」というお話も教師の頭にあって、新聞記事を鵜呑みにするのではなく、新聞記事から関連して考えられる環境問題や世界の動きを記事と記事を結びつけたり、他の情報と結びつけたりして考える力を子ども達につけさせたいと思い、国語や社会科の発展学習としての総合『新聞記事の向こうに』を立ち上げた。

## 二 単元展開とその実際

単元を始める前に 地球環境や自動車、物の値上がりに関する記事集めを行う。

第1時 2つの新聞記事に出会う。

- ・見出し - レジ袋の有料化 - (8/1, 12 信濃毎日新聞)
- ・見出し - バイオエタノールの賛否 - (8/11 信濃毎日新聞)



### 学習問題

2つの新聞記事のうち一つを選び、書いてある記事について資料や調査をもとに調べながら、自分の考えをまとめよう。

第2・3時 インターネットや他の新聞記事などで資料を集めたり、聞き取り調査を行う。

第4時 意見交換会

- レジ袋の有料化
- ・マイバックを普及させる動き
- ・地球温暖化にいい

- バイオエタノールの賛否
- ・地球温暖化の解決(CO2を減らす)
- ・石油が減ることをくいどめる

- |                                                                                                                                                                          |                                                                                                                                                                     |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみをふやさないすむ</li> <li>・ポイ捨てを防ぐ</li> <li>・石油を使わない</li> <li>・無料がいい</li> <li>・マイバックを忘れたときに困る</li> <li>・レジ袋がないと買ったものを運ぶのに苦労</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・どうやってつくるのだろう</li> <li>・食べ物の値段が上がって困る</li> <li>・食べ物をすてる人と食べられない人がいる</li> <li>・水がたくさん使われる</li> <li>・食べ物がなくなってほしくない</li> </ul> |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

第5・6時 インターネットや他の新聞記事などで資料を集めたり，聞き取り調査を行う。

第7時 意見交換会

レジ袋の有料化

- ・レジ袋を減らす，再利用をすればよい
- ・資源（石油）が少なくなってきた
- ・レジ袋にお金をかけるということは石油にお金をかけていること
- ・マイバックの使用により，石油の使用は減る
- ・マイバックだって石油製品かもしれない
- ・レジ袋を捨てることは，石油を捨てていること
- ・なぜ有料化するのか
- ・レジ袋1袋作るのに18.3mlの石油が使われる

バイオエタノールの賛否

- ・ガソリンの値上げをとめる
- ・地球温暖化にはいいが，ものの量が減ったり，値段が上がったりしてよくない
- ・2023年までに7倍の使用量になるそう
- ・石油製品を使ってつくるので，石油の節約にならない
- ・燃やすからCO<sub>2</sub>が減らない
- ・エンジンのこしょうになる

第8・9時 最後の意見交換会に向けて，自分が集めた資料や調査を発表用の用紙にまとめ，発表の準備をする。

第10時 バイオエタノールについての最終意見交換会

学習問題

バイオエタノール生産は今後増えていくのだろうか

<増えていく>

- ・環境にやさしいので
- ・生産者は欠点をけっしてPRすることはしない
- ・政府がバイオ燃料生産費を1ℓ40円と目標設定しているので
- ・地球温暖化を防ぐためには必要だから
- ・安い値段でつくれるようになれば
- ・ガソリンの値段が上がっている

<減っていく>

- ・食べ物の値段が上がったり，食べ物そのものの量が減っていくので
- ・地下水が底をついている
- ・車に乗らないようにしてCO<sub>2</sub>の排出量をおさえたい
- ・バイオエタノール専用の車を買わないと今の車ではエンジンが故障するらしいから（さらにお金がかかる）
- ・豊かな国はいいが，貧しい国はもっと困るのではないか（不平等だ）
- ・車はなくても生きていけるけれど，食料がないと生きていけない

<わからない>

- ・かえってガソリンをつくる方が安上がりの国もある
- ・地球環境にはいいが，生産するときに大量の水やエネルギーを消費するので
- ・良い悪いと勝手に思いこんではいけない
- ・食べ物を燃料にするなら，飢餓で困っている人を救済した方がよいから
- ・さとうきび畑にするために森林が伐採されるからCO<sub>2</sub>を減らすことができないと思うから

第11校時 レジ袋の有料化についての最終意見交換会

学習問題

レジ袋の有料化は大町市でも取り組んでいくのだろうか

<取り組んでいく>

- ・燃やさなくてすむようになるとCO<sub>2</sub>を減らせるから

<取り組まない>

- ・有料化以外の方法がある
- ・コンビニは困る

<わからない>

- ・スーパーはできるかもしれないが，コンビニはできないから

- ・有料化する方が削減できるから
- ・断ると石油・電力・CO<sub>2</sub>が削減できる
- ・有料化の外国の例があるから（韓国はほとんどレジ袋を使用しない）
- ・大町市だけ有料化しないわけにはいかない
- ・マイバックを忘れることもあるから
- ・自分でレジ袋を使わなければよい
- ・レジ袋が必要
- ・今のジャスコやデリシア、西友のような取り組みを続けていけば有料化する必要はない
- ・もっとスーパーなどのお店のPRがないとすぐには取り組めない
- ・エコバックを自ら利用すればすむことだから
- ・便利さを選ぶのか環境を考えるのか迷う

第12・13校時 単元のまとめとして新聞を書く。

見出しは自分が学習して心に残ったことや言葉をいかす  
記事は友の資料から考えた自分の考え



## 8 成果と課題

- (1) 新聞記事を読む習慣が身につく、面白さを実感することが出来るようになった。新聞を読んだり内容について話し合ったりすることで、家族と触れ合う機会にもなり、集めてくる記事を見て担任が個々を理解する手段ともなりえた。
- (2) 社会で起きていることに敏感になり、自分なりの考えを持って表明できる力が身につく。特に事実と自分の感想を区別して書く力が身に付きつつある。より多くの意見を述べ合う、また大人と話す機会を設けることで社会事象を多面的に捉えていけるであろう。
- (3) 新聞を読むことに対する抵抗は減ってきていると思われる。新聞特有の文章表現も数多く読むことによって自然に身についていた。
- (4) 新聞を実際に書くことを通して、構成を意識した文章を書くことの学習になった。たくさん取材内容の中から、何を中心に記事を書くか取捨選択していく力を身につけることがまだ必要である。ただ、書くテクニックを身につけさせることに終わることがないように書いて表現することの良さや目的意識を持たせて書くような興味関心を促すことにもっと時間をかけるべきだと思う。
- (5) 教科の学習の中に、新聞を効果的に位置づけることは、子どもたちが自分自身を社会の中に位置づけて考える上でとても有効だと思う。適切な記事やタイムリーな記事を選ぶ必要性が指導者に問われ、学校には数社の新聞が読める環境づくりをなんとか実現できないか。
- (6) 実践してみて改めて新聞の必要性やよさが感じられ、5学年のカリキュラムはほぼ完成できたが、限られた時数と、課せられた教育課程の中で各学年に定着させていくには至っていない。